

学内グラント 終了後報告書

平成18年度 学内グラント報告書

原因不明の脳炎・髄膜炎でのパレコウイルス検出と
その臨床症状の解析

研究代表者 野村 恭一(埼玉医科大学 総合医療センター 神経内科)

研究分担者 佐々木 望³⁾, 富岳 亮²⁾, 山崎 勉³⁾, 名和 優⁴⁾, 高濱 美里¹⁾,
町田 早苗⁵⁾, 清水 博之⁶⁾

〈学会発表〉

- 1) 町田早苗, 西村順裕, 名和優, 伊藤雅, 清水博之. Human Parechovirus (HPeV) 抗体保有状況の解析. 第55回日本ウイルス学会学術集会, 平成19年10月21日~23日, 札幌
- 2) 町田早苗, 西村順裕, 吉崎佐矢香, 石井孝司, 清水博之. カンボジア糞便検体中ヒトパレコウイルスの検出とその分子疫学. 第56回日本ウイルス学会学術集会, 平成20年10月26日~28日, 岡山
- 3) 笥紘子, 酒井哲郎, 植田穰, 山岡明子, 中野裕史, 町田早苗, 清水博之, 大竹明, 雨宮伸. 髄液よりヒトパレコウイルスが検出された新生児の1例. 第136回日本小児科学会埼玉地方会, 平成21年5月24日, 浦和

〈論文その他〉

- 1) Satoh J, Nakanishi F, Koike F, Onoue H, Aranami T, Yamamoto T, Kawai M, Kikuchi S, Nomura K, Yokoyama K, Ota K, Saito T, Ohta M, Miyake S, Kanda T, Fukazawa T, Yamamura T. T cell gene expression profiling identifies distinct subgroups of Japanese multiple sclerosis patients. J Neuroimmunol 2006;174:108-18.
- 2) 大貫学, 野村恭一. Guillain-Barre 症候群に副腎皮質ステロイド療法は有効か. 水島裕, 川合眞一. ステロイドの使い方 コツと落とし穴: 中山書店;

2006.p.80-1.

- 3) 大貫学, 野村恭一. 重症筋無力症に対してステロイド治療を開始するとき. 水島裕, 川合眞一. ステロイドの使い方 コツと落とし穴: 中山書店; 2006.p. 82-3.
- 4) 濱口勝彦, 野村恭一. ギラン・バレー症候群おける献血ベニコロン-Iの使用成績調査-中間報告-. 診療と新薬2006;43:1175-90.
- 5) 王子聡, 三井隆男, 吉田典史, 山里将瑞, 大熊彩, 高濱美里, 島津智一, 大貫学, 富岳亮, 松村治, 野村恭一. 多発性硬化症に対する免疫吸着療法の治療メカニズム. 神経免疫学 2006;14:53.
- 6) 奥山あゆみ, 高濱美里, 大熊彩, 吉田典史, 山里将瑞, 島津智一, 三井隆男, 大貫学, 野村恭一. 両側の大脳皮質下白質に広範な脱髄病変を認め, ステロイド療法が著効した免疫介在性脳炎の1例. 神経治療学 2006;23:318.
- 7) 野村恭一. 神経疾患に対する免疫グロブリン療法. 日本内科学会雑誌 2007;96:91.
- 8) 王子聡, 伊崎祥子, 小島美紀, 吉田典史, 山里将瑞, 島津智一, 大貫学, 富岳亮, 野村恭一. 多発性硬化症に対する免疫吸着療法の有用性と血清サイトカインの変動. 神経免疫学 2007;15:54.
- 9) 野村恭一. 神経疾患に対する免疫グロブリン療法. 日本内科学会雑誌 2007;96:2046-53.
- 10) 野村恭一. 免疫性神経疾患とアフェレシス. 日本アフェレシス学会雑誌 2007;26:365-6.
- 11) 野村恭一. Guillain-Barre 症候群に対する免疫グロブリン療法 こんな症例ではどうするIVIg療法. 日本医事新報 2007;4360:57-63.
- 12) 吉田典史, 三井隆男, 成川真也, 久保田昭洋, 田島孝士, 原涉, 伊崎祥子, 小島美紀, 王子聡,

1) 埼玉医科大学 総合医療センター 神経内科
 2) 埼玉医科大学 医学部 神経内科
 3) 埼玉医科大学 医学部 小児科
 4) 埼玉医科大学 医学部 微生物
 5) 埼玉医科大学 医学研究センター
 6) 国立感染症研究所 ウイルス2部

- 井口貴子, 高濱美里, 山里将瑞, 大熊彩, 大貫学, 野村恭一. Guillain-Barre症候群の回復期に喉頭蓋軟弱症を呈した38歳男性例. 末梢神経 2007;18:181-4.
- 13) 三井隆男, 伊崎祥子, 王子聡, 成川真也, 久保田昭洋, 田島孝士, 原渉, 小島美紀, 吉田典史, 高濱美里, 井口貴子, 山里将瑞, 大熊彩, 大貫学, 野村恭一. 味覚障害で発症した急性失調性多発根神経炎の49歳女性例. 末梢神経 2007;18:185-9.
- 14) 野村恭一. 傍腫瘍性神経症候群の免疫療法. 日本内科学会雑誌 2008;97:1830-7.
- 15) 王子聡, 野村恭一. ステロイド・パルス療法と血液浄化療法の適応. 日本臨床 2008;66:1127-32.
- 16) 王子聡, 野村恭一. アフェレシス. Brain Medical 2008;20:182-9.
- 17) 三井隆男, 野村恭一. 脊髄炎とその治療. 脊椎脊髄ジャーナル 2008;21:679-86.